

北海道労働局 若手職員座談会



監督署勤務
(基準系統事務官)

労働保険の加入手続き、労働保険料の徴収、労働災害の認定に関する調査業務に従事。



監督署勤務
(労働基準監督官)

労働基準関係法令違反があった際に行政指導を行う監督業務や司法処分を行う司法警察業務に従事。



ハローワーク勤務
(安定系統事務官)

会社から求人募集の受付、会社への助成金支給審査業務を経て雇用保険の加入業務に従事。



ハローワーク勤務
(安定系統事務官)

仕事を探しに来た方に対する職業相談業務を経てハローワーク内の運営を支える庶務業務に従事。



労働局勤務
(安定系統事務官)

北海道労働局に所属する職員の給与計算業務に従事。

座談会登壇者の行政紹介

労働基準行政(基準系統)

- ⇒ 主に労働基準監督署での業務(労働局勤務もあり)
- 労働基準監督官(監督官採用試験)
- 厚生労働事務官(国家一般職試験)

職業安定/人材開発行政(安定系統)

- ⇒ 主にハローワークでの業務(労働局勤務もあり)
- 厚生労働事務官(国家一般職試験)

今回は北海道労働局の、主に労働基準監督署で働く基準系統の職員と、主にハローワークで働く安定系統の職員に集まっていたいただき、それぞれの業務内容や、経験したこと、感じたこと等をこれから労働局に参加しようとする方に紹介します！！

※内容は個人の感想等を含みます。

**本日はお集まりいただきありがとうございます。
まず最初にみなさんが労働局を志望した理由を教えてください。**



採用筆記試験後に採用担当の方から「労働局の面接を受けてみませんか？」とお誘いがあり、労働局について調べていく内に、誰もが健康で働きやすい職場づくりを目指すことを魅力に感じて志望しました。



「ダンダリン」という労働基準監督官を扱ったドラマを観たことがきっかけで、働く人を労働トラブルから守り、安心して働ける世の中を作る監督官の仕事に興味を持ちました。
また、大学時代に労働基準法と労働法の授業を受けていて、労働行政自体に関心がありました。



私は求職活動中にハローワークを利用した際、実際に働く職員の方々と接する内に、これから自分が働くなら、生涯をかけて働く人を支えるハローワーク職員になりたいと思ったのが主なきっかけです。



もともと人の話を聞くことが好きで、相談を受けることが得意でした。それを仕事にでき、公務員として人の役に立てる点と、採用担当者の「仕事がその人を作る」という言葉に感銘を受け、私も労働局に加わりたの考えたからです。



大学の専攻で障害のある方の特別支援について学んでいて、そこで障害がある方の北海道での就職困難率などを見て、北海道労働局で行っている障害者支援の業務に携わりたのと思ったのが大きな理由です。



北海道労働局 若手職員座談会

労働基準監督署はどのような業務を行っているところが教えてください。



給料が払われない等のトラブルが起きたり、仕事にけがをした際等に相談していただき、会社に労働基準関係法令違反があった際は行政指導や司法処分を行い、仕事にけがをした際には労災保険で治療費等を支給したり、労働保険の諸手続きを行うことが主な業務です。



ハローワークはどのような業務を行っているところが教えてください。



仕事を探している方に対し、求人を提示し会社に紹介したり、面接対策や書類の添削等を行い、公共職業訓練を斡旋する職業紹介や、雇用保険という、主に仕事を離職した方に対して給付金を支給する保険を取り扱うことが主な業務です。



労働局はどのような業務を行っているところが教えてください。



労働局は道内にある監督署やハローワークの統括・調整業務を主に行っているところです。その中でも、私は労働局（監督署・ハローワークを含む）で働いている職員の給与を計算して払う仕事に携わっています。

現在行っている業務の一日の流れについて教えてください。



監督官の監督業務はその日に何をするか結構バラバラで、流れが決まっているわけではありません。例えば、初めて調査に行く会社のアポイントを取ったり、実際に会社に行って臨検監督を実施したり、監督署内で法令違反の疑いがある被疑者に聴取を行ったり等、様々な業務を同時並行で進めているという感じですか。



私が行っている雇用保険の加入や喪失の業務は、朝来たらメールをチェックして、午前中は窓口業務をやりながら、合間を見て電子(オンライン)申請も確認します。午後からは郵送の申請が届くので、そちらの処理も行います。ある程度落ち着いたら、全体で終わらなかったものを処理しています。



私の給与計算業務は、一日の変化があまりないのですが、労働局全体の係から所属職員の残業や手当等の情報を連携を取りながらいただいて、まとめたものを合算して最終的に合っているかを確認しています。それを給与に反映させるということをやっています。

業務について入る前と後でイメージが変わったものはありますか？



(基準系事務官は) 漠然と労災保険の給付をやるイメージでしたが、医学書に近い専門書や色々な書類を見て仕事をしていて、こんなにも専門的にやっているのだと思い、そこはギャップに感じました。



「ダンダリン」という監督官を題材にしたドラマを学生の時に見て、会社へ監督・調査をする仕事であることは想像はしていたのですが、実際の災害現場に行って災害調査を行ったり、監督官は司法警察官として逮捕権限を持っているので、会社の事業主を逮捕することもあり、業務の幅が広いな、と思いました。



「こうしたら就職できます」と提示するのが、ハローワークの仕事だと思っていたのですが、まず求職中の方が何を考えているのか、どこに不安を覚えているのかを聞いた上で、どうしたら就職できるかのプロセスを提案し、対話の中で解決策を一緒に見つけていくというのが一番イメージと違ったところでした。

職場のワークライフバランスはどのようにですか？



そうですね、残業はあまり多くなく、有給休暇も取りやすいので働きやすい職場だと思います。監督官はどうですか？



業務が立て込んでいると、20～30時間ほど残業する月もありますが、それほど多くはないです。遅くまで残る日は無く、0時間の月もあります。有給休暇も取りやすいです。



私たちがそれについては同じような感じですか？



あとは、労働局ではマンスリー休暇という、月に必ず1日以上有給休暇を取得する取り組みを行っていて、私も毎月1日以上有給休暇が取れています。



長期休暇も取りやすいです。7～9月の間に連続した平日3日間を選び夏期休暇として取得することができるので、去年は有給2日を加えて土日祝日を合わせた10連休を過ごしました。

転勤について教えてください。



労働局では2～3年ごとに道内で転勤があります。私は釧路、旭川、札幌で勤務しましたが、地域それぞれに特色があって、名産品を食べたり、観光地に行ったりして楽しんでいます。各勤務地には暮らしやすい立地に家賃の安い宿舎があるので、安心して異動できます。



転勤後には異動距離に応じて給与や賞与に上乘せされる広域異動手当が支給されます。また、引越し代金やホテル代、交通費もしっかりと支給されます。

採用時の業務に関する教育体制はどうでしたか？



監督官である私の場合、入ってすぐ1か月半程度、先輩に同行して会社に対しての接し方や、労働者からの相談の応じ方を学ぶ実地研修がありました。その後1か月程度、朝霞の労働大学校に行き研修をするのですが、私の時はコロナ禍だったためオンラインで行いました。



私たち事務官は採用時に、労働局の会議室に安定系統・基準系統が同時に集まって3日間研修をしました。労働局やハローワーク、監督署の業務内容を聞いたり、マナー講師の講習も受けました。最初に私が配属された求人や助成金を扱う部門では電話や窓口対応等をする際に隣の席の先輩方に全力でサポートしていただいたので、特に不安を感じませんでした。



トンネル研修に参加する労働基準監督官の皆さん。トンネルの工法や安全衛生対策について研修しました。



北海道労働局 若手職員座談会

北海道労働局は多くの採用者がいますが同期採用の人たちとの関わりはどうでしょうか？



同期は仲が良いと思っています。最初の研修後に全体交流会があり、そこで知り合った人たちとは部署が違っていても交流があり、一緒にご飯に行ったりしています。

仕事で疲れたときのリフレッシュはどうしていますか？



仕事終わりカフェに行って、本を読んだりしています。職場に読書好きな人が多くて、おすすめの話題作を職場内でよく貸し借りしています。

仕事をしていて身についたスキルはありますか？



労災保険制度や関連する法律で難しい専門用語が出てくるのですが、そういったことをかみ砕いてわかりやすく一般の人に説明する能力が磨かれたと思います。



事業主の方にいかに複雑な労働基準法を説明するか、いかに労働問題等で困っている労働者に寄り添うか、それらの経験を積んでいく内に人に対する接し方やコミュニケーションスキルが身についたと思います。



人の良いところを取り入れる力が伸びたと感じています。電話応対や窓口対応をしている先輩方や同僚の良い話し方を参考にして、人に物事を伝えるスキルが伸びたのかなと思います。



聞く力に磨きがかかったと思っています。労働局が職員に行っている、キャリアコンサルタント資格(※1)取得に向けた研修で座学やロールプレイング等を行った後、実際にハローワークの窓口で相談しに来た方の話を傾聴して、本人に対して気づきを促す質問をすることができるようになりました。



自分で考えてから行動する力が身についたと思います。今携わっている仕事は数字をメインに扱うのですが、数字が合わなかった時に、まずは根拠を自分で考えています。考えてもわからなければ他の部署に聞きに行くなど、必要に応じて自分から行動する力も身につきました。

※1... キャリア形成や職業能力開発などに関する相談・助言(キャリアコンサルティング)を行う専門家の資格

試験勉強や試験対策はどのように行いましたか？



私は高卒区分で入ったのですが、一年間専門学校に通つてとにかく勉強をしていました。面接のトレーニング等も学校がやってくれるので、ありがたかったです。



私も専門学校に一年間通ってがっつり勉強をやりました。寝る間を惜しんでやった記憶がありますね。



大学3年生の秋頃から独学で勉強を始めました。筆記試験は結構力を入れて頑張ったんですけど、筆記試験が終わってから短い期間で面接試験が始まるので、そこまであまり面接対策をしてなくて笑。大急ぎで面接対策をしたので、もっと早くからやっておけばよかったなと思いました。



大学を卒業した4月から独学で勉強を始めました。学校に行つて勉強するより、自分の勉強スタイルにあっていると思ったからです。ただ独学だと仲間がいなかったので、業界研究や面接の対策が難しかったです。



私は大学3年生の春に公務員予備校に入校して、オンラインで授業を受けて、大学の授業と並行して勉強しました。当時はサークルに打ち込んでいたので、隙間時間を使いました。監督官試験の場合、択一問題以外に労働法に関する記述の筆記試験があります。労働基準法以外にも労働契約法や労組法も出題されるため、労働法全体の勉強をした上で、時間を計りながら過去問を解いて、何が出題されるについても考えながら対策していました。

ハローワークでは面接練習や履歴書、志望動機の書き方相談も無料で利用することができます。
実際に働いている職員の声も直接聞けますので、是非お近くのハローワークに相談してみてください！



これからやってみたい業務や3〜5年後どうなっていたいかについて教えてください。



雇用保険の加入(適用)業務をやりたいです。現在労働保険料の還付業務に携わっていて、会社相手とやり取りをしているので、同じ労働保険や会社相手の加入業務は今までやってきたことが役に立つかなと思うからです。今の係の先輩や上司がすごく親身になって話を聞いてくださったり、業務について教えてくださったりするので、今後は先輩に丁寧に仕事を教えられるような先輩になりたいです。



今までは主に労働保険の適用徴収の業務をやってきたので、今後は労災認定調査業務に挑戦したいと思っています。これからは今よりも多く先輩ができますので、的確なアドバイスを、パスと言えるような先輩になれたらなと思っています！



労災の申請や労働時間の調査業務をより深く勉強していきたいです。また、労災部門に配属になって労災業務を行い、労災自体に詳しくなりたいとも思っています。3〜5年後は労災も、監督も、安全衛生もできるスーパー監督官になりたいと思っています！笑



私は一般の方の職業紹介をやっていましたが、今後は障害がある方の職業紹介・支援業務を行いたいです。民間の障害者向け就職支援サービスは少なく、ハローワークの意義が大きい業務です。例えば会社に相談して働きやすい環境ができるか、本人がどういう配慮を求めているかとか等、就職のハードルが高いことが多いので、そこに対して真剣に向き合っていきたいです。今後は上部機関である厚生労働省に出向して勤務したいです。



今までの現場経験でのミクロな視点に、日本全体のマクロな視点を加えることで物事をより深く見れるようになるのではないかなと思うからです。

私は職業紹介業務に携わりたいと思っています。型にはまらず、目の前の利用者様に合わせてやり方を模索しながら仕事を確立していくことが、私は面白そうと思うからです。

3〜5年後は知識量を増やして、もっと人に寄り添った対応ができるようになりたいなと思っています。「この人に任せて良かったな」と思われる人になりたいです。

北海道労働局 若手職員座談会

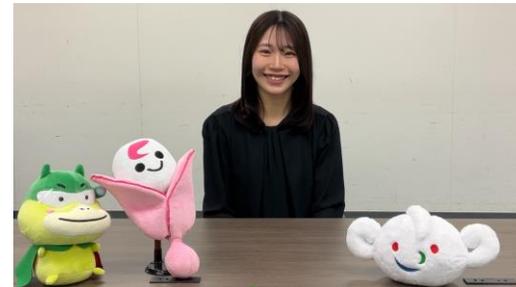
最後に一言メッセージをお願いします。



私の職場で働く人達は元気があって明るくて、仕事で悩んだこと等があれば、何でもすぐに聞いてくれます。公務員を目指している方は今、勉強等で大変だと思いますが、試験で辛いことをたくさん乗り越えた後、私達と一緒に働いて、楽しく仕事ができる日が来ると思います。みなさん頑張ってください。



労働局の魅力は、なんと言っても他の官庁と比べて人との関わりが多く、深い点だと思います。ですので、人と話すことが好きな方は特に向いている職場だと感じます。労働局は働いている職員の人数が多く、いろんな方がいらっやって、面白い環境です。一緒に働きたいという方はぜひお待ちしております。



労働局を選んだ理由は、大学で勉強したことを活かせることが一つで、もう一つは説明会で労働局担当者の優しい雰囲気になれたからです。実際に説明会に行ってみないと分からないことなので、ぜひ足を運んでみてください。各官庁の説明会に参加して業務について学ぶことも大事ですが、担当者の人柄に注目してみてくださいもいいかなと思います。たくさん勉強をしたり、試験に向けて大変だと思いますが、一緒に働けることを楽しみにしています。



受験生のみなさんは普段、たくさん勉強をして頑張っていると思いますが、監督官になるとかっこいい監督官証票がもらえますよ笑。監督官に必要なコミュニケーション能力は仕事をしていく内に身につきますし、法律も日々変わっていきますが、そういったところも勉強しながら仕事ができる、自分を成長させることができる仕事だと思いますので、受験頑張ってください。応援しています！



公務員への就職活動自体も、ハローワークが行っている相談業務の中で経験として生きるものになります。途中で諦めなくなる時もあると思いますが、適度に息抜きしながら続けていけば、ハローワークで相談業務をした際に、「あの時の自分はこうだったから、この人はこう悩んでいるかな」と繋がってきます。まずは今やっている試験対策を頑張ってください。普段の生活も大事にしながらやって欲しいです。みなさんと働くことを楽しみにしています。



北海道労働局HPや
各種SNSも
ぜひご覧ください！



@HKDMHLWGRAM

(Instagramはこちら↑)